

「実習をふりかえって」

[私立中学校・高等学校 理科]

最初教育実習に行く前、あまり成績も高校時代良くなかったので、母校に教育実習に行かせて頂いて良いのか、生徒に何を伝え、何を教えられるのか不安でした。生徒との接し方や生徒の前に出て話すことに緊張があり、2週間実習を成し遂げられるか不安な気持ちで一杯でした。HRクラスの生徒たちと仲を深めるためにどうすればよいのか自分なりに考え、アンケート（質問・メッセージカード）を配ったり、掃除の時間や放課後、生徒とたくさん話したりしました。

進路の相談や勉強法のアドバイスだけでなく、私の高校時代の話や生徒の趣味や好きなことの本音を本当にいっぱいしました。自分の苦手なことや辛かったことを生徒に話すのは少ししんどい気持ちでしたが、何かみんなのためになればと思って話しました。教育実習開始直後から指導教官の先生から「生徒とコミュニケーションをとる時間をたくさんとって下さい」と何度も言って頂きました。毎日掃除後に生徒と話をしすぎて盛り上がりすぎてしまい学習指導案の打ち合わせ・話し合いをする時間が遅くなってしまいうことも多々ありましたが、指導教官の先生には多大なサポートをして頂きました。また授業に関しても自らが楽しんで授業を行うことで生徒にも楽しさが伝わるとご指導頂き、何度も何度も模擬授業を見て頂き多くのアドバイスを頂きました。

途中上手くいかないことや、どうすれば良いかわからないこともあり悩んだこともありましたが、いつも先生が助けて下さいました。

公開授業も含め、実際に授業を行う時には生徒の顔をしっかりと見ることができ、生徒の反応も良く楽しみながら授業をすることができました。授業準備に関しては板書計画や授業計画書を何度も練り直し、2週間毎日電車の中で教科書を読み直しどのようにして話せば生徒に伝わるのか何度も考えました。板書に関しても書き方や内容も先生にアドバイスを頂きながらよりわかりやすい授業ができるように心がけました。どれだけ時間をかけても際限がなく、授業見学に行かせて頂き、先生方の授業を見る度にヒントを頂きました。生徒としての立場で先生方の授業を受けていた時は「わかりやすい」「面白い」と感想だけで先生方の授業を聞いていましたが、今回教育実習生として先生方の授業を見学させて頂いた際には、雑談や関連する話を入れるタイミングなども生徒の興味・関心をひきつけるのに重要であり、大切なキーワードや重要なポイントなどは特に注意して話すことが必要であると感じました。指示語はなるべく使わず常に何を指しているか気をつけて話さなければならないと感じました。

生徒からの質問・回答に関しては適切な対応を心がけること、決して否定や間違っていると決めつけないことが重要だと学んだので今後気をつけていきたいと思います。

また教育実習中同じ実習生には何度も助けてもらいました。辛いこと、上手くいかないこと、中には指導教官の先生に厳しく指摘され泣いてしまう実習生もいました。

私も一週目の実習中とても悲しい出来事があり、この先頑張っていけるのか不安になってしまい、くじけそうになったことがありました。その際、やることが多く忙しい実習生が多いのにも関わらずたくさんの人が励ましてくれ、最後まで頑張ろうと声をかけてくれました。みんなでチームとなって努力することができたことが一番嬉しかったです。

生徒の中にも「今日ちょっと元気ない？先生大丈夫？」と声をかけてくれた人がおり、どんなに辛い

ことがあっても顔には出さないと決めていましたが、やはり嬉しかったです。

全体を振り返って、この二週間は私の人生の中でとてもとても大切な時間でした。努力することの重要性、学び続けることの大切さ、を実感し、生徒のひたむきに努力し頑張っている姿に何度もパワーをもらい、私自身ももっと頑張っていかなければならないと思いました。

指導教官の先生には本当に本当に感謝しています。教育実習生をもつのは初めてだとおっしゃっていましたが、どんな小さなことにも相談に乗って頂きアドバイスをして下さいました。辛いことがあった時も優しくして頂いたことも、何度も模擬授業に付き合ってくれたこと本当に感謝しています。

2週間という短い時間でしたが今後の人生の糧になる貴重な2週間となりました。指導教官の先生をはじめ、授業見学をさせて頂いた先生方に深くお礼を申し上げます。

ありがとうございました。